

防災

【災害時でも医療を継続するために、我々がしなければならないこと】

この言葉を念頭に、もしものシチュエーションを想定した行動を皆で確認しました。

「訪問診療なのだから車がないといけないよね」

「ICTを活用するにも電気がないと」などなど。

右の写真は発電機の稼働訓練です。



防災訓練を実施しました

## 今年も全国在宅医療テストを受験しました

愛媛県にあるたんぼぼクリニックが主催している在宅医療の制度にまつわる問題が出題されるこのテスト。毎年クリニックのスタッフみんなを受けています。様々な知識を得て、患者さんへの在宅療養のサポートにつなげていきます。



## 勉強会のお知らせ

Kansai Home-care Meeting

つばさ カフェ



医療・介護・福祉に係る皆様を対象に【毎月】【参加無料】の在宅医療の勉強会を開催しています。

コロナウイルス対策としてZOOMを利用したオンラインでの勉強会です。

※開催時間：18:30～19:30

※事前にお申し込みが必要です

※参加人数に限りがあります

詳しくはホームページ又は毎月の勉強会ご案内をご覧ください。お気軽にご参加ください！



## 訪問診療のあれこれをラジオ番組で放送中!!

日時 毎月第3木曜日 14:30～(10分程度)

放送局 FM ぐらしき 82.8MHz パーソナリティ 大谷 利文

「訪問診療とは?」「在宅療養を支える職種は?」「家族の負担は?」

など、在宅医療に関する話を分かりやすくお伝えする番組です!

FMぐらしきのホームページでも聴けますので、ぜひ聴いてください!

ゲストとして、つばさクリニックのスタッフ+αが月替わりで登場します!

企画・運営 エフエムぐらしき 協賛 つばさクリニック



※今後の放送予定： 1月20日・2月17日・3月17日

## つばさクリニック

定期訪問 午前9時～午後5時 緊急往診 24時間対応

診療科目 訪問診療・内科  
循環器科・呼吸器科・整形外科  
〒710-0047

岡山県倉敷市大島534-1

TEL 086-424-0283

HP: www.tsubasa-clinic.net

## つばさクリニック岡山

診療科目 訪問診療・内科・小児科

〒700-0026

岡山県岡山市北区奉還町1-7-7

TEL 086-254-0283

www.tsubasa-okayama.net

# つばさ新聞

## 理事長のコメント

新年あけましておめでとうございます。一昨年から続く新型コロナウイルス感染症によって、日常生活で様々な制約が必要な日々が続いております。在宅医療を提供する上でも、その感染症蔓延を互いに防止すべく、患者様とご家族、関係各所の皆様に様々な制約やお願いをさせて頂いております。皆様に、多大なるご協力を得ることができ、無事に新しい年を迎える事が出来たこと、この場をお借りして心から御礼を申し上げます。まだまだ完全なる終息が見えない中ではありますが、どのような状況であっても、患者様の住み慣れた場所での療養を支え、地域の在宅医療に貢献出来る医療機関であり続けたいと考えています。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

(医療法人つばさ 理事長 中村 幸伸)

新しい生活様式に、スイッチしよう。

## スイッチ! つばさ



手を洗おう



マスクをしよう



密閉をさげよう



毎朝体温チェック



こまめに換気

スイッチ! おかやま

岡山で暮らす私たち一人ひとりの行動が、岡山の未来につながっているから、今は、マナーをON、ゆるみをOFF、安心な岡山を、みんなで作ろう。

switch-okayama.jp  
スイッチおかやま





## 想いでエピソード

つばさクリニック岡山 医師 武藤 純



今回お話しするのは50代の女性で乳癌、多発骨転移、肺転移の患者さんです。元々横浜で暮らしておられたのですが、震災の後、災害の少ない岡山に転居してこられました。ご主人はお仕事の関係で横浜在住、岡山にはご本人と、高校生の娘さん、中学生の息子さんと暮らしておられました。そんな中、8年前に乳癌と診断され手術を受けられたのですが、その3年後に再発しました。抗癌剤など治療をされましたが、癌の進行は止められず、多発骨転移・肺転移と診断を受け、抗癌剤治療は行わない方針を決め、当院へ依頼されました。

初診に訪問すると、痛みが強く、ほとんどベッドから動けない状態で、食事もうつろいようでした。鎮痛剤を使うことに強い抵抗感を持っておられたのですが、ご本人とお話を繰り返し、軽い痛み止めから始め、少しずつ調整していきました。次第に痛みも穏やかになり、食事もうつろいようになりました。この間、ご主人は週末に時間を作って横浜から岡山までやってきて介護するという状況が続きました。しかし、この生活を長く続けるのも難しく、やがてご本人が横浜に転居してそちらで療養する、ということをご希望されました。当院とご主人とで協力して横浜の病院を探し、当院と受入れ先病院とで転院調整を進めました。新幹線での移動には不安もありましたが、訪問看護ステーションのスタッフが付き添ってくれたことでなんとか無事に転院することができました。診療開始時には痛みも強く衰弱しておられ、横浜まで移動することはとても考えられませんでした。痛みがとれて次第に食欲も回復し、それに伴って全身状態も改善したことで移動も可能になりました。療養の形は様々で、患者さんの希望も時間の経過と共に変わっていきます。私たちもその状況に応じた対応を心がける事、関わりを持ついろいろな人たちの力を合わせる事の大切さを感じさせられた症例でした。



## Dr. 岡田の南極物語リターンズ



### 第8回：雪上車移動の様子その1

今回は南極大陸を雪上車で移動している時の様子をお話しします。雪上車は通常時速8~10kmで進みます(写真①)。大型雪上車は非常に燃費が悪く(リッター200m程度)、満タンでも40kmしか進めません。給油はドラム缶から手動のポンプで行います。(写真②)これがかなり辛い作業で、低酸素+低温+強風の下では、手はかじかみ、意識が飛びそうになるくらい息が上がります。雪上車には2名体制で乗り込み、1日約10時間の運転を交代で行います。途中、トイレ休憩や昼食、給油で停車します。運転中悩ましいのが「眠気」です。360度雪原しかない景色は変化に乏しく、同じスピードでひたすら真っすぐ進むので、すぐ睡魔に襲われます。ガムを咬んだり、窓を開けて車内に冷気を入れたりしてもなかなか解消されないで、僕は車内にガンガン音楽をかけ、大声で歌うようにしていました。(写真③)眠気には有効でしたが、助手席で寝ている隊員にはずこぶる嫌がられました。ちなみに南極大陸の内陸部を走行する場合はルート上2km間隔に立てられている赤旗とGPSを確認しながら進みます。(写真④)ロストポジションによる遭難が死に直結してしまう南極では絶対に欠かせないものになります。



(写真①)



(写真②)



(写真③)



(写真④)



## つばさの食支援探訪



年に1度の特別な日

管理栄養士 佐藤 洋子

### つばさの「お誕生日デリバリー」

当院では、患者さんのご要望に応じて、お誕生日にデザートプレートの提供をしています。このプレートは、食形態・糖質・嗜好等、管理栄養士の視点でそれぞれに配慮したつばさオリジナルプレートです。時には、患者さん宅の畑でとれた野菜や果物なども使用しています。この日は、80歳を迎えられたMさんのお誕生日に合わせて、デザートプレートを用意して訪問しました。「いらっしゃい！待ってたよ〜。今日は何が出てくるんじょうか？」リビングはいつもより華やかな雰囲気でした。「このジャンパーは息子がプレゼントしてくれたんよ」と、いつもは部屋着姿のMさんですが、赤いジャンパーに素敵なハンチング帽でおしゃれをして待って下さっていました。デザートプレートと奥さんが淹れたコーヒーがそろい、誕生日会の始まりです。「こんな歳になっても誕生日を祝ってもらって、ありがとう！」そばにおられた奥さんの温かいまなざしが印象的でした。飼犬も一緒にお誕生日を盛り上げてくれ、沢山の笑顔と笑い声が自宅に響きました。食後にMさんから一言「あ〜おいしかったあ〜」この一言のために、私たち食支援チームは頑張っています。〜食べることを生きる喜びに〜 つばさの「食支援」は、患者様やご家族様の「食」の想いを大切にこれからも支援を続けていきます。



HAPPY BIRTHDAY!

在宅生活をサポートする  
医療・介護サービスのご紹介

看護小規模  
多機能型居宅介護



### 看護小規模多機能ホームさんらいふ生坂 ホーム長 楠 健吾

看護小規模多機能型居宅介護とは、「病気を抱えていても住み慣れた自宅で生活がしたい」という希望を叶える為の事業所です。

4つの特徴として、

- 1 従来の主治医を変更することなく、主治医と連携し、顔馴染みの職員が24時間365日、「通い」「泊まり」「訪問介護」「訪問看護」の4つのサービスを一体的に提供することが出来ます。
- 2 利用料は要介護度に応じた月額制で、利用頻度や回数による増減はなく介護費用が膨らむことがないので安心です。
- 3 高度な医療が必要な人にも対応することができ、人生の最期まで住み慣れた自宅で暮らせるよう支えることが出来ます。
- 4 ご利用者様やご家族様の状況が変わった場合も、事業所内で臨機応変にサービスを組み合わせ、素早い対応が可能です。急な「泊まり」や夜間の訪問看護・介護に対応することも出来るため、ご利用者様・ご家族様の安心感にも繋がります。

医療法人 水清会グループの一員である看護小規模多機能ホーム さんらいふ生坂では、ご利用者様が住み慣れた自宅で可能な限り安心・安全に生活ができるように、馴染みの職員が柔軟なサービスと切れ目ないサービスを提供し、いつも笑顔で寄り添い一人ひとりの生活を支援していきます。



看護小規模多機能ホーム さんらいふ 生坂  
住所：岡山県倉敷市生坂492番地6  
電話番号：086-464-6652

